

特定非営利活動法人

シルバーアドバイザー・ネット大阪

第 8 期 定 時 総 会
議 案 書

開催日時 平成26年5月31日(土) 午後1時30分～

開催場所 アネックスパル法円坂 7階 なにわのみやホール

定 時 総 会 議 事 次 第

- 1 開会
- 2 挨拶 1) 理事長挨拶
2) 来賓挨拶
- 3 議長選任
- 4 議長就任挨拶と議事進行
 - 1) 会議成立要件の確認
 - 2) 議事録署名人の選任
 - 3) 議案審議
 - 第 1 号議案 第 8 期事業報告承認の件
 - 第 2 号議案 第 8 期活動計算書報告と監査報告承認の件
 - 第 3 号議案 第 9 期事業計画（案）の件
 - 第 4 号議案 第 9 期活動計算書予算（案）の件
- 5 議長解任
- 6 閉会

第1号議案 第8期事業報告

1. 第8期事業総括報告

昨年度の国内の大きな動きとしては、第2次安倍内閣が発足しアベノミクスを更に加速させようとしたましたが、中小企業まで景気回復の恩恵に浴さず、消費税増税と絡んで先行き未だ不透明という声が多いです。

一方、少子高齢者社会は確実に進み、高齢者が高齢者を支える時代となり、高齢者がますます社会の担い手としての役割を求められます。

このような状況にあつて私たちシルバーアドバイザー・ネット大阪（以下：SA ネット大阪と略します）は、各事業部とも従来からの活動を通じてその役割を十分に果たし、今期もわずかながらも正味資産を増やすことができました。

ただ、第1期から継続して活動してまいりました「介護福祉事業部」の介護福祉用具説明員ボランティア活動は、現在の事業委託先のビック・アイ共働機構のご都合で、前期末平成26年3月31日限りで「バリアフリープラザ」での展示を撤去し、同事業を廃止されたため自動的に契約満了となり、2年9ヶ月に及んだ同所における活動も終了のやむなきに至りました。

活動の機会を提供して頂いたビック・アイ共同機構、説明員ボランティアとして活動協力して頂いた堺SA協議会会員等関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

また、私たちSA ネット大阪と最も緊密にネットワークを組んでいますNPO 法人大阪府高齢者大学学校会長 長井美知夫氏が平成25年8月21日逝去されました。

SA ネット大阪の運営についても常に深い関心を示され、適切な助言を戴いてきましただけに誠に残念で、謹んで哀悼の意を表したいと思います。

なお「伝承おもちゃづくり府民塾事業部」以下の活動実績については、それぞれの事業部より報告を申し上げます。

第8期の主な事業と今後の課題

(1) 渉外ネットワーク活動

前出の大阪府高齢者大学学校、大阪アクティブシニア協会等の事業活動に係わり、各種講座、イベント、出前サポートバンク、アクティブシニアフェスタ等に参加、協力しました。

また、各同窓会の連合体である「校友会」のメンバーにもなり、会員獲得に貴重なパイプを繋ぐことができました。

(2) 広報活動

広報誌「SA・ネット大阪ニュース」は、第16号、第17号と2回発行、事業報告に加えイベント計画の紹介、活動のPRに努めました。

ホームページも随時更新、各部の活動をタイムリーに紹介。併せて内容の充実を図りました。

また、前述の「校友会」のパンフレットにも記載、会員獲得活動に役立ちました。

(3) 理事会

定例理事会を毎月第4月曜日、年11回開催（5月を除く）。各部の事業実績、今後の事業展開等推進について討議しました。

(4) 今後の課題

- ① 「介護福祉用品説明員ボランティア」の委託事業が終了し、現在それに代わる事業を早急に具体化、実現させる必要があります。
昨年来、(公社)大阪府看護協会との連携による「介護福祉用品説明ボランティア事業」の交渉は、先方都合で中断しており、実現の見通しは立っていません。
それに代わる事業として、「認知症予防と軽運動」をセットした「啓発講演会と体験」講習会を複数回実施を軸とする事業を企画し、現在「キリン福祉財団」に助成金申請を行っています。
- ② 自主事業のうち、「国際交流事業」をさらに展開させ、高大との接点を探り受講生も参加、外国人との交流を通じてより実践的な「英語が話せる」講座を開催することも視野に入れて検討したいと思います。
- ③ 会員の増強も毎年の課題ですが、前述の「校友会」をはじめ、高大の受講生と、日頃から接点を多くし、交流を通じて当 NPO の趣旨を理解してもらう等日常的に会員獲得の活動を目指します。

2. 事業部活動報告

1) 介護福祉事業部活動報告

総括報告でも触れましたが、平成 23 年 7 月から続いてきた国際交流センター(通称:ビッグ・アイ)(堺市南区茶山台 1 丁目)、バリアフリープラザにおける介護福祉用具説明員ボランティア活動は平成 26 年 3 月末を以て終了しました。昨年度後半は、ビッグ・アイ側の意向で介護福祉用具見本が撤去され、実質的には説明業務は行っていませんでしたが、館内で実施された「大阪府障がい者芸術・文化フェスティバル」「共に生きる障がい者展」等の開催時には設営に協力したり、プラザ内に設置された PC 機器、図書等の管理や館内案内等、ビッグ・アイ運営の一端を担って参りました。

活動の場がなくなったことは残念ですが、同センターの登録ボランティアとして活躍される方もあり、同センターとの絆を大切にしていきたいと思っています。

年間活動日数 213 日(平日のみ、企画展等開催時は出勤なし)

延 413 人参加

2) 伝承おもちゃづくり府民塾事業部活動報告

従来実施していた「おもちゃづくり工作教室」に加え、おもちゃづくりと初歩的な科学実験体験をセットした「科学教室」を企画、イベントに参加。「東大阪市弥刀小学校」、泉大津市あすとホール「夏休みワクワク科学実験教室」では、定員一杯参加した児童の好奇に満ちたキラキラした瞳が印象的でした。

また、障がい者を対象にしたイベントに参加、予想以上の来場者があり好評で充実した交流ができました。ビッグ・アイ(堺市)での「大阪府障がい者芸術・文化フェスティバル」「共に生きる障がい者展」では、地元堺 SA 連協のメンバーと共同

で参加、お互いの技術の向上や交流に役立ちました。

恒例の「おもしろ算数教室」事業との共催も、四天王寺古本市会場でパズル体験が好評でした。

なお、「おもちゃづくり事業部連絡会」を毎月開催（8月を除く。第3火曜日）。実施した「工作教室」、参加したイベントの反省、予定イベントの打合せ、新種おもちゃの紹介、情報の交換等を行っています。

年間イベント参加回数 9回 延14日 SA参加者数 延68名
来場者数 1849名
教材読本（伝承手づくりおもちゃ読本他）頒布販売 17冊

3) おもしろ算数教室事業部活動報告

I. 出前教室・・・高齢者向け4回 実施

- ① 高齢者向けに継続的に実施をしているところでは、参加者の方が、楽しんでおられる様子が、参加者の増加であらわれています。皆さん「いつまでも心身ともに元気に過ごしたい」と参加することを楽しみになさっておられます。また、初めて参加なさった方でも「次はいつ来てくれるの?」と、お声をかけて下さいまして、うれしく思い、また来たいと思いました。

II. パズル体験・・・4回実施

- ① 春と秋の四天王寺の古本市では、親子一緒にパズルに取り組む姿があまり見られなく残念でした。それでも、親子一緒になって、算数パズルに取り組む微笑ましい姿が、印象的でした。

III. 展示・・・府庁での 大阪“勉強ワクワク”フォーラムにおいて、初めての取り組みとして実施されました、子どもの学力向上のために、地域が学校を支援するのではなく「地域と学校の連携で、子どもの学ぶ力を育てよう」との講演・実践報告等の会場で、実演ブースとして参加しました。93名の方の興味を引いたようです。

IV. サポーター会・・・春と秋に実施

- ① また、活動を広げるためにテキスト(その4と5、その1改訂版)の作成をしました。
- ② 新しいパズルの紹介や、取り組みをし、サポーター間の交流を深めました。

4) 国際交流事業部活動報告

I. 国際交流事業部運営委員会を原則毎月第4月曜日に開催し、国際交流サロン、国際交流に関する企画等について審議しました。

II. 国際交流サロンを4回開催しました。

- ① 第24回は、大阪大学大学院のアルゼンチン留学生ファクンド ガラシーノさんを講師に迎えて、6月22日(土)に開催しました。また、第2部で留学生との交流会も実施しました。

テーマ名 ; 「イメージを超えてアルゼンチンを知ろう」

参加者数；48名、内外国人留学生4名

- ② 第25回は、大阪府高齢者大学校英語科講師ブライアン ローリンソンさんを講師に迎えて、9月29日（日）に開催しました。

テーマ名；「“なぜ” 英語が上手く話せないのでしょうか」

参加者数；146名

- ③ 第26回は、神戸大学の留学生でタレント活動もされているチェコ人女性スザンカさんを講師に迎えて、11月9日（土）に開催しました。

また、第2部で9名の留学生を交えた交流会も実施しました。

テーマ名；「スザンカさんが語る異文化体験」

参加者数；39名、内外国人留学生9名

- ④ 第27回は、「おふく寄席」のメンバーによる英語落語を平成26年3月2日（土）に開催しました。

テーマ名；「英語落語と英語マジック」

参加者数；63名、内外国人留学生8名

III. 大阪府高齢者大学校新設科目「国際文化交流科」のカリキュラム構築の支援をしました。

5) 企画部事業活動報告

大阪府看護協会桃谷センターの生活体験館「GOKAN」での説明ボランティア活動の業務受託を目指して鋭意交渉を続けてまいりましたが、看護協会の事業方針により当面受託は困難な状況にあり保留することに致しました。引き続き状況改善に努めたいと思っています。

第2号議案 第8期活動計算書報告と監査報告 別紙

第2号議案

監査報告書

特定非営利活動法人

シルバーアドバイザー・ネット大阪

理事長 三田 進一 殿

平成25年4月1日から平成26年3月31日までの、平成25年度における会計並びに業務の監査を行い、次のように結果を報告いたします。

記

1. 会計監査について、貸借対照表、財産目録、活動計算書、財務諸表及び会計諸帳簿を精査した結果、経理関係は適正に行われており、財産状況を正しく示しているものと認めます。
2. 業務監査について、月次の定例会の会議にも出席し、また理事からの業務の報告を聴取し、関係書類閲覧を行い、業務執行の妥当性を検討した結果、事業報告の内容は正しいものであることを認めます。

平成26年5月19日

特定非営利活動法人シルバーアドバイザー・ネット大阪

監事 松本 勉



第3号議案 第9期事業計画（案）

1. 第9期総括事業方針

- (1) 自主事業の3事業部はいずれも、より発展させるための中長期の施策を議論し、具体化させ実現に努めるとともに、多くの人との交流を図ります。
- (2) 「介護福祉事業部」については、当面委託事業に代えて認知症予防の観点から、「啓発講座と軽スポーツ体験プログラム」事業を検討しています。現在、実現させるために助成金を申請中です。
- (3) 広報活動の強化
HP と広報誌「SA・ネット大阪ニュース」を通じて、配布範囲を広げ、より多くの人に周知してもらおうべく、内容の充実を図ります。
- (4) 従来「大阪府高齢者大学校」「大阪アクティブシニア協会」に加え、「大阪区民カレッジ」「校友会」等関連団体との連携を深め、SA ネット大阪の事業拡大と会員増強に繋がります。

2. 事業の実施に関する事項

1) 介護福祉事業部活動方針

現在、交渉が中断している大阪府看護協会桃谷センター地下1階の生活体験館「GOKAN」での「介護福祉用具説明員ボランティア活動事業」は、当面事態の進展が望めず、保留せざるを得ない状況にあります。引き続き事態打開に努めます。

それに代わる事業として、「認知症予防と軽スポーツ体験」の啓発講座を実施すべく検討しています。その事業実現のために助成金を申請したところです。

2) 伝承おもちゃづくり府民塾事業部活動方針

「おもちゃづくり工作教室」やイベント参加を通じて、日本の「伝承手づくりおもちゃ」を子ども達や、その家族と共に学び、楽しみながら作っていきます。

昨年度、注力した障がい者に対する交流を更に重点的に推進し、障がい者の社会参加のキッカケづくりに役立てればと考えています。

併せて各種イベントにも参加、子ども達やすべての参加者たちが「つくる」「遊ぶ」ことで「ものづくり」の大切さや、「楽しさ」を体験してもらえればと思っています。

また、「他事業部」との連携も積極的に行い、より多くの人々と交流したいと考えています。

当事業部の課題は、活動原資の調達と指導員の世代交代です。助成金以外の資金調達、シニアの若手世代の発掘が大きなテーマになっています。

3) おもしろ算数教室事業部活動方針

この教室の今年度の活動としては、

- I. 出前教室の機会を増やすことが第一の目標です。継続的に長期間実施しているところでは、最近初めて参加した方が、慣れないでなかなか解き進まない様子に

比べ、長らく参加している方が、新しいパズルに対してもどんどん解き進んでいく様子に、対応を工夫することが求められます。

II. パズル体験の機会を増やすことと、テキストの販売を進めることにより、算数パズルを解く楽しさを、多くの方々に楽しんでいただき、この教室のさらなる広がりや、期待したいと考えています。そのために、今年度は、以前実施していた講座とほぼ同じパズルを使い、参加しやすく工夫しようと、一般編のテキスト販売をします。それを使って、サポーター養成まで進めたいと考えています。

III. サポーター会を、より充実したものにするために、取り組んでいきます。そこで、昨年度に引き続き、次の目標をたてて、楽しく活動できる会にしていきます。

- ① 新しいパズルを解き、パズルの点検をする。
- ② サポーター各々が、おもしろ算数パズル塾を実施できる機会を探る。
- ③ この教室の広がりを目指して、体験会を企画する。
- ④ おもしろ算数教室の講座に代わる、サポーター養成のシステムとして
 - ・一般編のテキスト（初級1と2、中級1と2、上級1と2）を販売する。
 - ・その解答（初級・中級・上級）と、算数マジックの紹介をする。
 - ・最後にサポーター養成講座を実施する。
- ⑤ 算数パズルのテキストの販売が、大きい収入源となっている。これをより充実する。

4) 国際交流事業部活動方針

I. 国際交流事業部運営委員会を毎月開催し、内容を充実させます。

内容の充実した活動を行うために、新メンバーも加えた定期的な会議を開催し、より内容の深い企画を練り上げて実施します。

II. 国際交流サロンを4回開催する予定です。

- ① 第28回は、6月29日（日）にドイツ人女性アンニカ ハンセンさんを講師に迎えて開催します。
- ② 第29回は、9月28日（日）にアメリカ人のサム テケンブロックさんを講師に迎えて開催します。
- ③ 11月に他の国際交流団体と交流を行う予定です。
- ④ 第30回は、平成27年3月初旬に「英語落語」を開催する予定です。

III. 他の組織との交流活動を深め、国際交流に関する協働化を目指します。

- ① 他の国際交流団体との交流を積極的に開始し、より深い交流を行うと共に協働活動事案を検証します。
- ② 大阪府高齢者大学校の「国際文化交流科」との連携も深め、国際交流という切り口でお互いに協働して行きます。

5) 企画部活動方針

平成26年度はキリン福祉財団に助成金を申請し、「講座・研修」事業を計画しています。企画事業の名称は「認知症予防のための講演会」と運動プログラムを併せた啓発講座事業です。

人口の高齢化に伴い、介護費用が増大し続け、介護保険料もそれにあわせて増加し続けています。認知症の予防・早期発見・治療・ケアに関して専門医師や認知症専門認定看護師の講義を聞き、同時に認知症予防に効果的なレクリエーション運動を元気な高齢者に体験して頂き、その経験を地域で生かして頂くための啓発活動を企画しています。大阪市内1カ所、府下で3カ所の計4会場で予定していますが、助成金が認められない場合には、自己資金で回数を減らして行う計画です。

第4号議案 第9期活動計算書予算(案)

別紙